

**日峯大神子広域公園（脇谷地区）
施設整備に関する提言書**

平成30年 9 月19日

日峯大神子広域公園(脇谷地区)施設整備専門検討会議

提 言 書

平成30年 9 月 19 日

小松島市長 濱田 保徳 様

日峯大神子広域公園（脇谷地区）
施設整備専門検討会議
会長 山中 英生

平成30年2月23日に委員として委嘱を受けました日峯大神子広域公園（脇谷地区）施設整備専門検討会議において、慎重な議論・検討を重ねることにより、施設整備の基本的な方向性をまとめましたので、つぎのとおり提言します。

この提言を踏まえ、公園の持つ多様な機能や役割が高めて発揮され、市民が安全・安心にかつ快適に利用できる都市公園として整備されることを期待します。なお、今後の本公園整備の推進にあたり、この提言の課題を満たすとともに、適正な情報公開のもとで、市民の十分な理解を求めた上で、整備されることを要望します。

記

1. 報告事項

平成29年5月に設置された日峯大神子広域公園（脇谷地区）施設整備検討会議において策定された、本公園の担う機能・役割を踏まえた整備方針や整備目標の実現に向けた施設の空間構成などの基本方針を踏まえ、公園が持つ多様な機能や整備による効果が、効率的かつ継続的に発揮されるような施設整備の実現に向け、平成30年2月23日に日峯大神子広域公園（脇谷地区）施設整備専門検討会議が設置され、同年5月31日までに3回の会議を開催いたしました。

会議におきましては、都市計画、景観デザイン、教育、福祉など各分野に造詣の深い委員により、主として植栽、園路ならびに休養・修景施設等の整備方針について、専門的見地から議論・検討を重ねてまいりました。

2. 決定事項

施設整備の検討にあたっては、本会議に先立ち開催された「日峯大神子広域公園（脇谷地区）施設整備検討会議」において策定された施設整備の「空間構成」に基づき、「小松島市緑の基本計画」の基本理念である「みんなで守り、創り、活かす、安全で安らぎのある水とみどりのまち こまつしま」の実現に向け、施設整備の基本的な方針を設定しました。

(1) 植栽計画

本公園区域を4つの植栽ゾーンから構成し、季節を感じられ、花とみどりに囲まれた安全で安らぎのある空間づくりを目指す。色彩については、第8回国民体育大会（軟式野球、屋外バレーボール）開催地としての歴史や、白球等をイメージし、公園利用者が四季を通じて「白」を基調とした花木を楽しむ空間づくりを目指す。

■ 「守る」ゾーン（芝生広場エリア・駐車場エリア）

長年市民に親しまれてきたサクラを守り、花を楽しむ広場を創出する。

【整備方針】

- サクラ（ソメイヨシノ）は、既存樹の可能な限りの有効利用を図ることとし、現況位置で保存可能なものについては引き続き存続させ、現況位置で保存不可能なものについては、接ぎ木や挿し木等による再生を行った上で移植し、後代への継承を図る。また、健全度不良により、やむを得ず伐採を行うものについては、木材、チップ材への再利用などを検討する。
- 芝生広場北側にサクラで囲まれた花見が行える空間を構築する。

■ 「創る」ゾーン（エントランスエリア・高台広場エリア）

市の花であるハナミズキによって、公園を訪れる人を誘導し、春の景色を創造する空間を創出する。

【整備方針】

- ハナミズキを芝生広場ステージ西側、エントランス、高台法面部等に適正に配置する。
- ハナミズキは、白色だけでなく、ピンク色を交えた植栽とする。

■ 「活かす」ゾーン（健康エリア）

日峯山の自然植生を活用し、公園から日峯山の自然へ導く地域のみどりのネットワークを創出する。

【整備方針】

- 日峯山の自然植生であるアオダモ、アカマツを植栽する。

■「安らぎ」ゾーン（自然ふれあいエリア）

遊歩道沿いに憩いと潤いを感じられ、季節を実感できる安らぎの空間を創出する。

【整備方針】

- 公園外周市道沿いにイチョウを列植し、日峯山の自然への誘導を行う並木を創出する。
- 四季を感じられ、かつ園路を歩く人が移動することで変化する景色を演出できるように植栽配置とする。

（２）園路計画

公園内の園路は、各園路が持つ機能、役割や想定される利用形態などから、幅員や勾配を計画するとともに、障がい者や高齢者など、すべての人が安全かつ快適に利用できるようなユニバーサルデザインに配慮した計画とする。

【整備方針】

- 園路の縦断勾配は、原則４パーセント以下とする。
- エントランス園路は、最も人の流れが多い動線となることや待ち合わせなど人だまりの空間として利用されることを考慮し、幅員１５mを確保する。
- 管理用車両が通行する園路は、幅員３mを確保し、車両の通行が無い園路は、二人歩き及び車いすの対向を考慮し、幅員２mを確保する。
- 駐車場への車両進入路は、２車線とし、幅員５．５m以上を確保する。
- 多目的・運動広場への通路は、２箇所設け、南側管理用進入路は、災害時の大型緊急輸送車等の通行およびイベント時の入退場門とするため、幅員５mを確保し、北側管理用通路は、管理車両の通行を考慮し、幅員３mを確保する。
- 階段は、二人歩きを考慮し、幅員２mを確保する。
- 園路の距離標や公園から日峯山までのジョギングコースを示す案内板等を設置する。
- 高台広場の歩行者用坂路から多目的運動広場の観覧席へ進入できるスロープを設置し、車いす利用者も観覧できる計画とする。

（３）各施設計画

■休養施設

【整備方針】

- ５０～１００mを超えない範囲に１箇所程度を目安に休養施設を配置する。
- ベンチは、夏季には木陰を、冬季には日差しがある環境となるよう、ベンチ横には原則的に落葉樹を配置する。

■修景施設

【整備方針】

- 既存の石碑、国体モニュメントは健康エリアに、小便小僧の銅像は芝生広場へ移設する。

■遊戯施設

【整備方針】

- 安全に遊べる小規模の遊具を芝生広場へ設置する。
- 園路の散策途中に小運動等が可能な健康遊具を健康エリアに設置する。

(4) その他

■芝生広場

【整備方針】

- 多目的に利用できるステージを設置し、園路から車いす利用者でも進入できる構造とする。
- イベント時等、公園利用者が多いときは、芝生広場の一部を臨時駐車場として開放する。

■高台広場

【整備方針】

- 津波発災時における防災拠点施設として最優先に守るべきエリアに位置付け、液状化対策等を施した耐震構造とする。

3. 今後の留意事項

本公園施設の整備にあたっては、以下の事項を踏まえ、今後の課題について十分に検討・検証するよう要望します。

(1) 植栽計画について

- 植栽の配置については、可能な限り列植や等間隔な配置を避け、樹木間に生まれる空間に変化をもたらすような配置とすること。
- 樹木医や造園家などの専門家の意見を入れながら、樹種の検討を行うこと。
- サクラについては、ソメイヨシノ以外の品種についても検討すること。
- ハナミズキもサクラと同様に、再生事業の対象とすること。
- 植栽後の維持管理計画を策定し、適正な管理体制を整えること。

(2) 園路計画について

- 園路の機能、役割、想定される利用形態などから、適正な舗装材の選定を行うこと。

(3) 各施設計画について

- 公園入口付近には、公園の正面性を表現するシンボリックなモニュメント等の設置を行うこと。
- 小便小僧の銅像の再利用も含め、子供が安全に水遊びをできるような水景施設の設置を行うこと。
- 遊戯施設は、狸のデザインなど本公園に相応しいものにする事。

(4) その他

- 津波発災時等の緊急車両の通行を想定した高台坂路について、車両の対向が可能な幅員を確保すること。
- 車止めや植栽などにより、駐車場エリアと園路、芝生広場エリア、エントランスエリアとの区画を行い、公園利用者の安全性を確保すること。
- 園路をジョギングコースとしての使用が想定されることから、すれ違い時の事故防止等を考慮した園路計画とすること。
- 野球の大会やイベント開催時には、公園内だけでは駐車場の確保が困難となることから、別途駐車場の確保について検討すること。
- バスが駐車可能なスペースの確保について検討すること。
- 多目的運動広場に関する施設については、野球関係者の意見を広く聴取し、施設計画、設計に反映すること。
- 本公園の独自性を発信できるようなアイデアを設計に反映すること。また、デザイナーを登用するなどにより、造形や素材選び等に関するアドバイスを得られるような仕組みづくりを検討すること。
- 本公園が徳島県が指定する土砂災害警戒区域（土石流）に含まれていることについて、当該指定に伴う規制等について確認を行うとともに、影響等について検証を行うこと。
- 正一位金長大明神については、現存する建物、工作物、植栽等の権利者を特定するための調査を優先的に実施すること。その後、法的な制約等を明らかにし、技術的にも可能な方案等がまとまった段階で、検討会議を設立するなど、市民と行政が議論できる場を設けること。

《附属資料》

- ・施設整備計画の方針（案）（A 3、1 頁）
- ・施設整備計画図 植栽計画（案）（A 3、2 頁）
- ・施設整備計画図 園路計画（案）（A 3、1 頁）
- ・施設整備イメージ図（案）（A 3、5 頁）
- ・土砂災害警戒区域図（小松島市土砂災害ハザードマップ）（A 3、1 頁）

以上

日峯大神子広域公園（脇谷地区）施設整備専門検討会議の経緯

■ 第 1 回会議

【日 時】 平成30年2月23日（金）午前10時30分から

【場 所】 小松島市役所2階 小松島市議会第一委員会室

- 【内 容】・検討会議の目的
- ・会議開催計画（案）
 - ・施設計画空間構成についての確認
 - ・導入施設の配置・選定（案）についての検討
 - ・植栽・園路施設整備計画（案）の検討
 - ・記念碑・記念樹等の取り扱いについての検討

■ 第 2 回会議

【日 時】 平成30年3月20日（火）午後3時30分から

【場 所】 小松島みなと交流センターkocolo 2階 第1大会議室

- 【内 容】・第1回検討会議の主な意見の確認
- ・野球場施設計画（案）の検討
 - ・植栽計画（案）の検討
 - ・既存樹木(サクラ・ハナミズキ)の保全・更新（案）についての検討

■ 第 3 回会議

【日 時】 平成30年5月31日（木）午後2時から

【場 所】 北小松島公民館

- 【内 容】・第2回検討会議の主な意見の確認
- ・植栽・園路・休養等施設計画（案）の検討
 - ・施設整備スケジュール（案）の検討
 - ・提言書とりまとめの検討

日峯大神子広域公園（脇谷地区）施設整備専門検討会議 委員名簿

	氏 名	所属・役職等	備考
会 長	山中 英生	徳島大学教授	学識経験者
委 員	尾野 薫	徳島大学助教	学識経験者
委 員	林 茂樹	都市環境デザイン会議 四国ブロック会員	景観・デザイン
委 員	武中 勢一	小松島商工会議所専務理事	商工・観光
委 員	檜原 敏之	株東阿波ケーブルテレビ 代表取締役	報道
委 員	服部 宏昭	小松島市文化財保護審議会委員	文化振興
委 員	高木 幸	徳島赤十字ひのみね総合療育センター 地域支援課発達支援係長	医療・福祉
委 員	澤内 健司	中田町協議会理事長	地元代表者
委 員	中川 正道	花みずきを育てる会会長 徳島県高校野球OB連盟副会長	地元代表者
委 員	孫田 勤	小松島市副市長	市職員
委 員	石山 晃	小松島市教育次長	市職員

以上 11 名